



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2011.10 月号

冬期特別展「星々のみちびき～大雄山参道二十八宿灯」（「11月19日～」）

軫二十八丁目拓本採取



次の特別展は「星々のみちびき～大雄山参道二十八宿灯」（平成23年11月19日～平成24年1月15日）を予定しています。道了尊の別名で知られる大雄山最乗寺（南足柄市）参道の、古い星座名を記した道標がテーマです。

写真撮影等、準備はいま着々と進行しています。9月13日には、テーマのカギとなる星宿燈、元治元（1684）年の「軫廿八丁目」の灯笼に刻まれた銘文を、最乗寺の許しをいただき拓本採取してきました。

社会教育課明石主任（前館長）の指導の下、天文担当澤村、塚田学芸員と「星まつりを調べる会」メンバーが作業にあたり、夏に戻ったような暑さの一日、作業を完遂しました。「軫」は中国や日本で使われていた星座名で、西洋式の現行星座では「からす座」に該当します。参道の灯笼は、1～28丁目の道程を、月や惑星の進行等を示す二十八星宿の名で知らせるもので、その発想はまさに、幕末庶民の「銀河鉄道」といえるのではないのでしょうか。

これまでプラネタリウムや寄贈品コーナー展示等で断片的に紹介しつつ調査を進めてきましたが、今回特別展としてその集大成を行ない、星の道しるべの、尽きない謎に迫ります。どうぞお楽しみに！

平成23年度 博物館実習

9月7日(水)から14日(水)まで、学芸員資格の取得を目指す大学生19名が博物館実習を受講しました。一週間にわたる実習の成果は、普段と違った若い感性あふれる寄贈品コーナーの展示をご覧ください。



古文書の裏打ち作業を学ぶ実習生

博物館
実習生
制作

お家の神様



今年度も、私たち博物館実習生19人による企画展示が行われています。「皆さんは、神様と聞いて何を思い浮かべますか？」という呼び掛けから始まる今回の企画展示は、現代の私たちの、曖昧な神様像に一石を投じ、そこから、昔の神信仰への知識を深めて貰うことをテーマにしました。そして、日々の暮らしを神様に感謝してきた文化に触れることで、た

だなんとなく過ごす毎日の有難みについて、見る人に少しでも考えて貰うきっかけづくりを、と考えました。



イメージキャラクター製作中



解説原稿執筆中

実習生の展示は、例年寄贈品コーナーで行われていますが、今年度の展示はその直前にある民家から既に始まっています。というのも、今年度の展示は「お家の神様」に焦点を当てているからです。ぜひ、民家の神棚で神様が祀られている様子に注目してから、順次寄贈品コーナーでの展示を楽しんでください。

展示は、始めに平塚市岡崎の沼田家に遺された大量のお札から、お家での神信仰の様子を伺うことから始まります。そして以降に、「お家の神様」である水神、荒神、大神宮、恵比寿大黒、稲荷の各神様の説明と、当時の人々の信仰の様子が紹介されています。

インパクトのある大神宮の神棚の配置や、リアルに再現したお供え物のジオラマは、私たち実習生の渾身の工夫が感じられる点であると思います。実習生オリジナルキャラクターと共に、神様への知識を深め、神様にまつわる皆さんのお話を絵馬に書いたりして、楽しんでいってください。(法政大学 千葉香菜子)



完成した展示と実習生一同

今夏節電対策の取り組みについて

この夏の電力需要逼迫にともなう節電対策として、博物館では平日の最大需要電力を前年の最大需要電力(2010年9月、205Kw)の15%削減を目標に展示室の照明カットや空調の停止などを実施し、来館されたみなさまに大変ご迷惑をおかけしました。みなさまのご理解とご協力のおかげで当初の目的が達成されましたことをここに報告させていただきます。

	最大需要電力	削減率	月使用電力量	前年同月	節電効果
7月分	152Kw	26%	28745 Kwh	34896Kwh	17%
8月分	166Kw	19%	36533Kwh	51486Kwh	29%
9月分	175Kw	15%	37132Kwh	53126Kwh	30%

※東京電力の請求書を基に作成。7月分は6月13日から7月12日(30日間)、8月分は7月13日から8月12日(31日間)、9月分は8月13日から9月12日(31日間)。

秋の行事参加者募集

<申込制の行事>

○キノコの観察会

内容：ハイキングコースのキノコを観察します。キノコは食べません。

日時：10月20日(木) 午前10時～午後4時

場所：吉沢

定員：15人

対象：小学生以下は保護者同伴

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月13日(木)までに申し込む。

○考古学入門講座「測る」1

内容：考古学初心者を対象にした入門講座。今年度のテーマは「測る」。遺物の実測から地形の測量まで考古学の計測の話。2回シリーズで第2回は11月20日(日)。

日時：10月23日(日) 午後2時～午後3時30分

場所：博物館講堂

定員：50人

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月14日(金)までに申し込む。

○自然教室「里山休耕田の生きもの調べ2昆虫」

内容：秋に見られる昆虫の観察をします。

日時：10月29日(土) 午後1時～午後3時

場所：土屋(びわ青少年の家付近)

定員：15人

対象：小学生以下は保護者同伴

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月18日(火)までに申し込む。

○自然教室「里山休耕田の生きもの調べ3植物」

内容：実ったたねなど秋の植物の観察をします。

日時：11月12日(土) 午後1時～午後3時

場所：土屋(びわ青少年の家付近)

定員：15人

対象：小学生以下は保護者同伴

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、11月1日(火)までに申し込む。

○平塚の遺跡を歩く「土屋城と人増館」

内容：平塚西部の城館を散策します。

日時：10月29日(土) 午前10時～午後3時

場所：土屋地区

定員：25人

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月21日(金)までに申し込む。

○吉沢の石仏めぐり

内容：石仏を調べる会の案内で、上吉沢・下吉沢の石造物を訪ねます。

日時：10月30日(日) 午前10時～午後3時30分

場所：吉沢地区

定員：20人

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、10月21日(金)までに申し込む。

<自由参加の行事>

◎星を見る会「月と秋の夜空を見よう」

内容：半月すぎの月や秋の四辺形などを観察します。

日時：10月7日(金) 午後7時～8時30分

場所：博物館屋上

参加：自由(雨・曇天時中止)

◎ろばたばなし

内容：民家のいろりばたで昔話を語ります。

日時：10月16日(日) (1)午後1時20分、(2)午後3時

場所：展示室1階「相模の家」

参加：自由

◎平塚郷土史入門講座「中原御殿と近世平塚の幕開け」

日時：10月16日(日) 午前10時～11時30分

場所：博物館講堂

参加：自由

◎星を見る会「木星を見よう」

日時：11月4日(金) 午後7時～8時30分

場所：博物館屋上

参加：自由(雨・曇天時中止)

10月

3	月	休館日	
4	火	平塚地質調査会	工作室
6	木	展示解説ボランティアの会	科学教室
7	金	古文書講読会	講堂
	◎	星を見る会「月と秋の星空を見よう」	科学教室・屋上
8	土	お囃子研究会	講堂
9	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
10	月	平塚の古代を学ぶ会	講堂
11	火	休館日	
13	木	石仏を調べる会 (湘南コケの会)	土屋 講堂
14	金	古文書講読会	講堂
15	土	古代生活実験室	科学教室
	◎	相模川の生い立ちを探る会	科学教室
16	日	平塚郷土史入門講座「中原御殿と近世平塚の幕明け」	講堂
	◎	ろばたばなし	相模の家
17	月	休館日	
19	水	裏打ちの会	科学教室
		民俗探訪会	藤沢市
20	木	○キノコの観察会	吉沢地区
		展示解説ボランティアの会	科学教室
21	金	古文書講読会	講堂
		地域史研究ゼミ	特別研究室
22	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		天体観察会「学習会と観察会」	科学教室・屋上
23	日	○考古学入門講座「測る」1	講堂
24	月	休館日	
27	木	石仏を調べる会	特別研究室
28	金	古文書講読会	講堂
	○	自然教室「里山の休耕田生きもの調べ2昆虫」	土屋
29	土	平塚の遺跡を歩く「土屋城と人増館」	市内
		星まつりを調べる会「特別展示物制作」	特別研究室
30	日	○吉沢の石仏めぐり	吉沢地区
31	月	休館日	

寄贈品コーナー「博物館実習生の展示 お家の神様」9月15日～10月27日

10月29日～11月29日
寄贈品コーナー「平塚の地盤と活断層」

プラネタリウム「見えない光で宇宙をさぐる—活躍するJAXAの天文観測衛星—」11月6日まで

11月

1	火	平塚地質調査会	工作室
3	木	祝日閉館	
4	金	古文書講読会	講堂
	◎	星を見る会「木星を見よう」	科学教室・屋上
5	土	お囃子研究会	講堂
6	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂
7	月	休館日	
10	木	石仏を調べる会	土屋
11	金	古文書講読会	講堂
		古代生活実験室	科学教室
12	土	星まつりを調べる会「特別展示制作」	特別研究室
	○	自然教室「里山の休耕田生きもの調べ3植物」	土屋
		相模川の生い立ちを探る会	鎌倉
13	日	◎平塚郷土史入門講座「近世金目川の治水と利水」	講堂
14	月	休館日	
16	水	裏打ちの会	科学教室
		民俗探訪会	鎌倉市
17	木	展示解説ボランティアの会	科学教室
18	金	古文書講読会	講堂
		地域史研究ゼミ	特別研究室
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		考古学入門講座「測る」2	講堂
20	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
	◎	ろばたばなし	相模の家
21	月	休館日	
22	火	天体観察会	月光天文台
23	水	祝日閉館	
		天体観察会	月光天文台
24	木	石仏を調べる会	特別研究室
25	金	古文書講読会	講堂
		平塚の遺跡を歩く「高麗山城と住吉要害」	市内
26	土	星まつりを調べる会「特別展示物解説」	特別研究室
27	日	◎平塚郷土史入門講座「須賀の水運とその繁栄」	講堂
28	月	休館日	

寄贈品コーナー「平塚の地盤と活断層」11月29日まで

冬期特別展「星々のみちびき〜大雄山参道二十八宿灯〜」平成23年11月19日〜平成24年1月15日

プラネタリウム「見えない光で宇宙をさぐる—活躍するJAXAの天文観測衛星—」
プラネタリウム11月12日(土)〜11月27日(日)

☆: 展示・プラネタリウム ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

展示とプラネタリウム

<寄贈品コーナー>

☆寄贈品コーナー「実習生制作展示 お家の神様」

内容: 博物館実習生が実習で制作した展示です。

会期: 10月27日(木)まで

会場: 1階寄贈品コーナー

☆寄贈品コーナー「平塚の地盤と活断層」

内容: 災害への備えとして私たちの住む地盤について紹介します。

会期: 10月29日(土)～11月29日(火)まで

会場: 1階寄贈品コーナー

<プラネタリウム>

☆プラネタリウム番組「見えない光で宇宙をさぐる—活躍するJAXAの天文観測衛星—」

内容: X線や赤外線といった見えない光でブラックホールや星が誕生する現場を観測する天文観測衛星「あかり」「すざく」「MAX I」の成果を紹介します。

投影日: 11月6日(日)までの土・日曜日

時間: (1) 午前11時 (2) 午後2時

観覧料: 200円(18歳未満・65歳以上無料)

あなたと博物館 39巻7号 通算418号 発行 平塚市博物館 2000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/